

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	新宿情報ビジネス専門学校
設置者名	佐古田 正道

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
情報ビジネス専門課程	情報ビジネス学科昼一部（1年制）	夜・通信	168時間	80×1＝80時間	
	情報ビジネス学科昼一部（2年制）	夜・通信	588時間	80×2＝160時間	
	マルチメディア学科昼一部（4年制）	夜・通信	1428時間	80×4＝320時間	
	マルチメディア研究科昼一部（1年制）	夜・通信	420時間	80×1＝80時間	
	情報ビジネス学科昼二部（2年制）	夜・通信	504時間	80×2＝160時間	
	マルチメディア学科昼二部（4年制）	夜・通信	1344時間	80×4＝320時間	
	マルチメディア研究科昼二部（1年制）	夜・通信	420時間	80×1＝80時間	
(備考) 昼一・二部開講制（昼・夜開講制を準用）					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

Webにて授業科目一覧を公開。その中で教員の实務経験に関するチェック欄あり。 (掲載: <a href="https://scit.ac.jp/aboutus/syllabus/">https://scit.ac.jp/aboutus/syllabus/</a> )
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	新宿情報ビジネス専門学校
設置者名	佐古田 正道

### 1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	教育課程編成委員会
役割	企業との連携に関して最も重視している点は、系統的な学習と現場で利用されている技術のバランスをとること。系統的・網羅的な机上学習と、現場のニーズを考慮した実践的な演習の両方をバランスよく教育できるよう、企業等との連携は配慮・工夫をしている。当委員会は上記の基本方針に沿って学校長が指名した企業・学術等の関係者から構成。学校長の諮問機関としてカリキュラムと授業の具体的な内容に関して審議・提言を実施。委員会の意見を十分考慮して、最終的な教育課程編成を学校長が決定し、現場に反映する。

### 2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
一般社団法人（モバイル関連） 専務理事	2020.4.1 ～ 2022.3.31	モバイル関連授業内容・学科編成に対する専門的な知見
株式会社（IT 関連） 代表取締役	2020.4.1 ～ 2022.3.31	Web 関連授業内容・学科編成に対する専門的な知見
（備考）両名とも昨年からの更新で再委任。		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	新宿情報ビジネス専門学校
設置者名	佐古田 正道

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。				
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)				
【作成について】 教育課程編成委員会の結果を受けて、学校長と教務課長、当該授業担当教員との間で、授業科目の設定・講義内容についての検討・検証をし、それに基づいて各授業を担当する教員が自らシラバスの作成を行っている。 学内のシラバス作成の手引きの中で、シラバス5要件『授業の概要(1. 授業方法、2. 授業内容)、授業スケジュール(3. 授業計画)、到達目標(4. 到達目標)、成績評価方法(5. 成績評価方法・基準)』、及び『対象となる資格、教科書・参考書、参考になるWebページ』を全科目共通で記載することが必須となっており、学内統一様式でシラバスの作成を行なっている。				
【時期について】 翌年度のシラバスは、1月～2月に担当教員が作成し、3月に学校長と教務課長の承認を経て正式決定する。決定後は速やかに(3月中)、翌年度分のシラバスをWeb上に公開する。				
授業計画書の公表方法	掲載： <a href="https://scit.ac.jp/aboutus/syllabus/">https://scit.ac.jp/aboutus/syllabus/</a>			
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。				
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)				
学則の細目において、各科目の評定は試験、実技、及び提出物の成績に、授業態度及び出席状況を加味して、総合的に判定する。				
(学則参考) (成績評定)				
第2条 成績評定の方法や判定基準などは次のとおりとする。				
1. 各科目の評定は試験、実技、及び提出物の成績に、授業態度及び出席状況を加味して、総合的に判定する。				
2. 成績の評定は、春学期と秋学期の成績をそれぞれ総合判定し、A B C Dの4段階で表示する。				
3. 各段階別評定は、絶対評価に相対的評価を取り入れ、概ね次の基準により行う。				
評定段階	A	B	C	D
点数基準	100～80	79～50	49～30	29～0
人数比率	20～30%	40～60%	20～30%	0～10%
4. 評定Dは、平均点の2分の1未満の成績を目安とし、この評定の科目は不認定とする。				
5. 不認定科目をもつ学生については、成績判定後に追試験を実施する。この場合、回数は2回を限度とし、合格した科目の成績はCとする。				

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>GPA(Grade Point Average)を導入し、学内の成績評価の総合指標として使用している。GPAは学生の履修した1授業科目あたりの平均成績を指す。</p> <p>学業成績は、学則にある通り(上記2を参考)、授業科目ごとにA、B、C、Dを判定し、成績が通知される。各授業科目の成績評価を既定の数値に置き換え、1授業あたりの平均成績を算出する。各成績はA(3点)、B(2点)、C(1点)、D(0点)に換算する。GPAは(Aの授業科目数×3+Bの授業科目数×2+Cの授業科目数×1+Dの授業科目数×0)の合計を、各学生が履修済みの総授業数で除した数を学生の評価値として求めることによって算出する。</p> <p>GPAによる評価値は、各学生の習熟度の把握はもちろんのこと、公的奨学金の推薦基準や成績報告、本校学内の学費減免対象者選定、推薦書の作成基準等に利用される。成績評価方法については、学則細目をWeb上で公開、また入学時ガイダンスで、授業時間割やシラバスの配布を通して、学生に周知している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>掲載： <a href="https://scit.ac.jp/aboutus/syllabus/tenpu4_gpa.pdf">https://scit.ac.jp/aboutus/syllabus/tenpu4_gpa.pdf</a></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>新宿情報ビジネス専門学校は、学生がIT系企業などに入社し、実際に業務に携わる際に必要になるが、実際の業務の中では系統的に身に付けることが難しい専門的な知識・技能を習得する、また、産学連携講師による課題制作の発表プログラムを通して、プレゼンテーション能力と実務能力の向上を目指すことを目的としている。</p> <p>一年次後期の期末定期試験を一年課程の卒業試験とし、二年次後期の期末定期試験を二年課程の卒業試験、三年次後期の期末定期試験を三年課程の卒業試験並びに四年次後期の期定期末試験を四年課程の卒業試験とする。</p> <p>学則細目第10条に定める授業科目の成績評価に基づいて、校長は課程修了の認定を行う。卒業の認定条件として、出席率も重要視し、入学日から卒業予定日までの通算出席率が80%以上とする。所定の修業年限以上に在学し、課程を修了したと認めた者には、卒業証書を授与する。</p> <p>上記により情報ビジネス専門課程二年制情報ビジネス学科を修了した者には、専門士(商業実務専門課程)の称号を授与する。また、情報ビジネス専門課程四年制マルチメディア学科を修了した者には、高度専門士(商業実務専門課程)の称号を授与と同時に、大学院への入学資格が付与される。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>掲載： <a href="https://scit.ac.jp/aboutus/gakusoku/gakusoku2019.pdf">https://scit.ac.jp/aboutus/gakusoku/gakusoku2019.pdf</a></p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	新宿情報ビジネス専門学校
設置者名	佐古田 正道

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	毎年6月ぐらいまでに最新情報をWebに公開 <a href="https://scit.ac.jp/aboutus/zaimu/index.html">https://scit.ac.jp/aboutus/zaimu/index.html</a>
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	※ 個人立のため不要
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		情報ビジネス 専門課程	情報ビジネス学科 昼一部（1年制）				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼夜	1,000 単位時間/単位	588 単位時間 /単位	714 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
	昼		1,302(単位時間)/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		1人	0人	9人	7人	16人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等

<p>(概要)</p> <p>年4回以上の個別面談、適職診断・相談に加え、毎月、御父母様や相談者様に出席・修学状況等の近況報告の実施など、三位一体の綿密な学修支援を行なっている。</p>
---

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
1人 (100%)	0人 (0%)	0人 (%)	1人 (1.0%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) キャリアデザイン教育の中で、自己分析・自己理解の促進、業界・企業分析の実施、履歴書等応募書類の作成指導、ハローワークとの連携、本校求人案件の紹介、個別面談・就労支援など。			
(主な学修成果（資格・検定等）) (国家資格) ITパスポート、ウェブデザイン技能検定 (民間資格) 情報検定J検、ビジネス能力検定B検、簿記、日商PC検定			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
1人	0人	0%
(中途退学の主な理由) なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) 年4回以上の個別面談、適職診断・相談に加え、毎月、御父母様や相談者様に出席・修学状況等の近況報告の実施など、三位一体の綿密な支援を通して学生の状況把握に努めている。中退の不安がある学生とは、親御様を交えた三者面談を実施するなど、中退防止・中退者支援に取り組んでいる。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		情報ビジネス 専門課程	情報ビジネス学科 昼一部 (2年制)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,000 単位時間/単位	2,100 単位時間/単位	1,512 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			3,612 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
30人	42人	25人	9人	7人	16人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 年4回以上の個別面談、適職診断・相談に加え、毎月、御父母様や相談者様に出席・ 修学状況等の近況報告の実施など、三位一体の綿密な学修支援を行なっている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
6人 (100%)	0人 (0%)	5人 (5.0%)	1人 (1.0%)
(主な就職、業界等) FPT ジャパングループ、DR テクノロジー株式会社、株式会社アルプスビジネスサービス、 株式会社夢テクノロジー、株式会社システムエグゼ			
(就職指導内容) キャリアデザイン教育の中で、自己分析・自己理解の促進、業界・企業分析の実施、履 歴書等応募書類の作成指導、ハローワークとの連携、本校求人案件の紹介、個別面談・ 就労支援など。			
(主な学修成果 (資格・検定等) ) (国家資格) 基本情報技術者、IT パスポート、情報セキュリティマネジメント、 ウェブデザイン技能検定、知的財産管理技能検定			

(民間資格) 情報検定 J 検、ビジネス能力検定 B 検、簿記、個人情報保護士、 日商 PC 検定、Oracle 認定 Java プログラマ
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
23 人	3 人	13.0%
(中途退学の主な理由) 体調不良、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 年 4 回以上の個別面談、適職診断・相談に加え、毎月、御父母様や相談者様に出席・ 修学状況等の近況報告の実施など、三位一体の綿密な支援を通して学生の状況把握に 努めている。中退の不安がある学生とは、親御様を交えた三者面談を実施するなど、 中退防止・中退者支援に取り組んでいる。		



分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	情報ビジネス 専門課程	マルチメディア学科 昼一部（4年制）		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	4,000 単位時間/単位	4,116 単位時間/単位	3,384 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位	7,500 単位時間/単位
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	0人	0人	9人	7人	16人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 年4回以上の個別面談、適職診断・相談に加え、毎月、御父母様や相談者様に出席・ 修学状況等の近況報告の実施など、三位一体の綿密な学修支援を行なっている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 （100%）	0人 （0%）	0人 （0%）	0人 （0%）
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容） キャリアデザイン教育の中で、自己分析・自己理解の促進、業界・企業分析の実施、履 歴書等応募書類の作成指導、ハローワークとの連携、本校求人案件の紹介、個別面談・ 就労支援など。			
（主な学修成果（資格・検定等）） （国家資格）基本情報技術者、ITパスポート、情報セキュリティマネジメント、 ウェブデザイン技能検定、知的財産管理技能検定 （民間資格）情報検定J検、ビジネス能力検定B検、簿記、個人情報保護士、			

日商 PC 検定、Oracle 認定 Java プログラマ
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由) なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) 年 4 回以上の個別面談、適職診断・相談に加え、毎月、御父母様や相談者様に出席・修学状況等の近況報告の実施など、三位一体の綿密な支援を通して学生の状況把握に努めている。中退の不安がある学生とは、親御様を交えた三者面談を実施するなど、中退防止・中退者支援に取り組んでいる。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		情報ビジネス 専門課程	情報ビジネス学科 昼二部 (2年制)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,000 単位時間/単位	2,100 単位時間/単位	1,512 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			3,612 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
50人		80人	80人	9人	7人	16人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照	
成績評価の基準・方法	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照	
卒業・進級の認定基準	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照	
学修支援等	
(概要) 年4回以上の個別面談、適職診断・相談に加え、毎月、御父母様や相談者様に出席・ 修学状況等の近況報告の実施など、三位一体の綿密な学修支援を行なっている。	

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
30人 (100%)	1人 (3.3%)	22人 (73.3%)	7人 (23.3%)
(主な就職、業界等) 株式会社リーディングウィン、株式会社テクノプロエンジニアリング社、TEシステム株式会社、株式会社アウトソーシングテクノロジー、Y・W・C株式会社、株式会社エーススタイル、株式会社チャイネットワーク、オリエンタル・ユニティ・リソース株式会社、他			
(就職指導内容) キャリアデザイン教育の中で、自己分析・自己理解の促進、業界・企業分析の実施、履歴書等応募書類の作成指導、ハローワークとの連携、本校求人案件の紹介、個別面談・就労支援など。			

(主な学修成果 (資格・検定等) ) (国家資格) IT パスポート、ウェブデザイン技能検定 (民間資格) 情報検定 J 検、ビジネス能力検定 B 検、簿記、日商 PC 検定 (備考) (任意記載事項)
--

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
101 人	15 人	14.8%
(中途退学の主な理由) 帰国 (進路変更・家庭の事情 (経済状況・健康上) ・本人の健康上の問題) 、就職 (日本での就職) 等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 年 4 回以上の個別面談、適職診断・相談に加え、毎月、御父母様や相談者様に出席・修学状況等の近況報告の実施など、三位一体の綿密な支援を通して学生の状況把握に努めている。中退の不安がある学生とは、親御様を交えた三者面談を実施するなど、中退防止・中退者支援に取り組んでいる。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	情報ビジネス 専門課程	マルチメディア学科 昼二部 (4年制)		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	4,000 単位時間/単位	4,116 単位時間/単位	3,384 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位	7,500 単位時間/単位
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	0人	0人	9人	6人	15人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 年4回以上の個別面談、適職診断・相談に加え、毎月、御父母様や相談者様に出席・ 修学状況等の近況報告の実施など、三位一体の綿密な学修支援を行なっている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (100%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) キャリアデザイン教育の中で、自己分析・自己理解の促進、業界・企業分析の実施、履 歴書等応募書類の作成指導、ハローワークとの連携、本校求人案件の紹介、個別面談・ 就労支援など。			
(主な学修成果 (資格・検定等)) (国家資格) 基本情報技術者、ITパスポート、情報セキュリティマネジメント、 ウェブデザイン技能検定、知的財産管理技能検定 (民間資格) 情報検定J検、ビジネス能力検定B検、簿記、個人情報保護士、			

日商 PC 検定、Oracle 認定 Java プログラマ
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由) なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) 年 4 回以上の個別面談、適職診断・相談に加え、毎月、御父母様や相談者様に出席・修学状況等の近況報告の実施など、三位一体の綿密な支援を通して学生の状況把握に努めている。中退の不安がある学生とは、親御様を交えた三者面談を実施するなど、中退防止・中退者支援に取り組んでいる。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	情報ビジネス 専門課程	マルチメディア研究 科昼一部（1年制）					
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	1,000 単位時間/単位	1,092 単位時間/単位	852 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
		1,944単位時間/単位					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
10人	0人	0人	9人	6人	15人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 年4回以上の個別面談、適職診断・相談に加え、毎月、御父母様や相談者様に出席・ 修学状況等の近況報告の実施など、三位一体の綿密な学修支援を行なっている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (100%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容） キャリアデザイン教育の中で、自己分析・自己理解の促進、業界・企業分析の実施、履 歴書等応募書類の作成指導、ハローワークとの連携、本校求人案件の紹介、個別面談・ 就労支援など。			
（主な学修成果（資格・検定等）） （国家資格）基本情報技術者、情報セキュリティマネジメント、 ウェブデザイン技能検定、知的財産管理技能検定 （民間資格）ビジネス能力検定B検、簿記、個人情報保護士、日商PC検定、			

Oracle 認定 Java プログラマ
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由) なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) 年 4 回以上の個別面談、適職診断・相談に加え、毎月、御父母様や相談者様に出席・修学状況等の近況報告の実施など、三位一体の綿密な支援を通して学生の状況把握に努めている。中退の不安がある学生とは、親御様を交えた三者面談を実施するなど、中退防止・中退者支援に取り組んでいる。		



分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	情報ビジネス 専門課程	マルチメディア研究 科昼二部（1年制）					
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	1,000 単位時間/単位	1,092 単位時間/単位	852 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
		1,944単位時間/単位					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
10人	0人	0人	9人	6人	15人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 年4回以上の個別面談、適職診断・相談に加え、毎月、御父母様や相談者様に出席・ 修学状況等の近況報告の実施など、三位一体の綿密な学修支援を行なっている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (100%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容） キャリアデザイン教育の中で、自己分析・自己理解の促進、業界・企業分析の実施、履 歴書等応募書類の作成指導、ハローワークとの連携、本校求人案件の紹介、個別面談・ 就労支援など。			
（主な学修成果（資格・検定等）） （国家資格）基本情報技術者、情報セキュリティマネジメント、 ウェブデザイン技能検定、知的財産管理技能検定 （民間資格）ビジネス能力検定B検、簿記、個人情報保護士、日商PC検定、			

Oracle 認定 Java プログラマ
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由) なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) 年4回以上の個別面談、適職診断・相談に加え、毎月、御父母様や相談者様に出席・修学状況等の近況報告の実施など、三位一体の綿密な支援を通して学生の状況把握に努めている。中退の不安がある学生とは、親御様を交えた三者面談を実施するなど、中退防止・中退者支援に取り組んでいる。		

## ②学校単位の情報

### a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
情報ビジネス 学科昼一部 (1年制)	130,000円	440,000円	310,000円	実習費、施設費、設備費、特別履修費
情報ビジネス 学科昼一部 (2年制)	130,000円	440,000円	310,000円	実習費、施設費、設備費、特別履修費
マルチメディア 学科昼一部 (4年制)	130,000円	440,000円	310,000円	実習費、施設費、設備費、特別履修費
マルチメディア 研究科昼一部 (1年制)	130,000円	440,000円	310,000円	実習費、施設費、設備費、特別履修費
情報ビジネス 学科昼二部 (2年制)	130,000円	440,000円	310,000円	実習費、施設費、設備費、特別履修費
マルチメディア 学科昼二部 (4年制)	130,000円	440,000円	310,000円	実習費、施設費、設備費、特別履修費
マルチメディア 研究科昼二部 (1年制)	130,000円	440,000円	310,000円	実習費、施設費、設備費、特別履修費
修学支援 (任意記載事項)				

### b) 学校評価

自己評価結果の公表方法
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価について、本校公式 Web サイトにて公開している。 <a href="https://scit.ac.jp/aboutus/gakuji-houkoku/jikohyoukahoukokusho.pdf">https://scit.ac.jp/aboutus/gakuji-houkoku/jikohyoukahoukokusho.pdf</a>
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)
「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づいた自己点検・自己評価の結果を下に、学校関係者評価委員で構成された委員会にて、評価及び改善の提言を年 2 回実施。その提言の中から優先度・重要度を学校長が判断して学校運営に反映。そのレビューを次回の委員会にて報告、PDCA サイクルにより更なる改善と反映を実施する。
(主な評価項目)
(1) 教育理念・目標 (2) 学校運営 (3) 教育活動 (4) 学修成果 (5) 学生支援 (6) 教育環境 (7) 学生の受入れ募集 (8) 財務 (9) 法令等の遵守 (10) 社会貢献・地域貢献
(評価委員会の構成)
委員会の構成委員は、企業などの役員又は職員、地域住民、元・高校教諭(進路指導主事)、卒業生、有識者、その他必要な委員によって構成される。委員会委員の選解任は学校長が行う。
(評価結果の活用方法)
改善方策の実施時期は、委員会終了後、学内検討委員会で優先度や効果を考慮した上で学校運営に反映していく。最終的な判断や決定は総責任者である学校長が担う。

学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
IT 企業 代表取締役	2020. 4. 1～2022. 3. 31	企業等委員
IT 企業 技術顧問 (学識経験者・工学博士)	2020. 4. 1～2022. 3. 31	企業等委員
IT 企業 技術顧問 (学識経験者・博士(工学))	2020. 4. 1～2022. 3. 31	企業等委員
税理士事務所 所長	2020. 4. 1～2022. 3. 31	地域住民 (顧問税理士)
元・都立高校教諭 (進路指導主事)	2020. 4. 1～2022. 3. 31	進路指導
元・教育系企業 ICT サポーター	2020. 4. 1～2022. 3. 31	本校卒業生
企業等の経営コンサルティング	2020. 4. 1～2022. 3. 31	有識者
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価について、本校公式 Web サイトにて公開している。 <a href="https://scit.ac.jp/aboutus/img/gakkokankeishahyouka1-2.pdf">https://scit.ac.jp/aboutus/img/gakkokankeishahyouka1-2.pdf</a> <a href="https://scit.ac.jp/aboutus/img/gakkokankeishahyouka2-2.pdf">https://scit.ac.jp/aboutus/img/gakkokankeishahyouka2-2.pdf</a>		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)  
<https://scit.ac.jp/>